



IMAGINE THE FUTURE

筑波大学人文・文化学群
比較文化学類
Open Campus 2022

目次

はじめに	2
筑波大学の1年間	3
宿舎について	5
アパートについて	7
グローバルヴィレッジについて	9
宅通について	10
アンケート～生活編～	11
アンケート～受験編～	16
一般入試について	24
推薦入試について	29
AC 入試について	31
編集後記	33

はじめに

この度はオープンキャンパスへのご参加、ありがとうございます。比較文化学類オープンキャンパス委員会です。

今年は、対面での開催ができ、とても嬉しく思います。しかし、人数を限る形になってしまったのは仕方がないとはいえ残念です。このパンフレットはできる限り比較文化学類生、通称比文生の実態を知っていただけるよう作成いたしました。

比文生のことを『華』と呼ぶことがあります。何故『華』なのかは正確に理由が言える気がしないし、語り切れる自信もありません。私なりに解釈するならば、同じ学類に所属していても興味のある分野は全く違う学生が集まっているからこそ、『華やか』に見えるのでしょうか。

比文生が『華』ならば、未来の比文生は『蕾』でしょうか。このパンフレットには『華』から『蕾』の皆さんへの愛が込められています。

比文生がどのように受験を乗り越えてきたのかや比文生のリアルについて限られたページ数の中ではありますが詰め込めるだけの情報を集めました。

オープンキャンパスを開催にするにあたり、比較文化学類の1,2年生の有志がオープンキャンパス実行委員会としてさまざまな活動を行っています。短い時間ではありましたが、委員一同準備を重ねてまいりました。

このパンフレットは委員会内のパンフレット局が作成させていただきました。記事だけでなく、表紙・裏表紙も局員が作成しました。「比文らしさ」が現れている表紙にもご注目ください。

このパンフレットを読んで比較文化学類に興味を持ってくださると幸いです。また、比文を目指す受験生の皆さんのモチベーションになることを祈っています。それでは最後までお付き合いよろしく願いいたします。

筑波大の1年間

こんにちは。ここでは、筑波大学での一年間を紹介します。今年度はコロナ禍で中止になっていた行事が制限付きでほとんど復活する予定です。やったね！来年度以降はさらに状況がよくなりますように！！

《春学期》

4月

☆入学式・オリエンテーション

真新しいスーツを着て入学式へ！入学式終了後から数日間はオリエンテーションです。今年度は入学式・オリエンテーションともに対面開催でした。筆者は2年生なのでたまーに対面授業がありますが、1年生は今年度もほとんどオンライン授業らしいです…。だから勇気を振り絞っていろいろな人に話しかけてここで友達を作ることを強く！！オススメです。

5月

☆春季スポーツ・デー

筑波大学最初の行事です！通称スポデー。ざっくりいうと自由参加の球技大会みたいな行事です。ガチで試合をするもよし、友達と楽しく遊ぶもよし、スポデー委員になって行事を運営するもよし、と様々な楽しみ方があります。筆者はこの運営をガチでやっている人なので魅力は語りつくせないですが、筑波大学に入学したら何らかの形でスポデーに関わってみてほしいです。

☆宿舍祭（通称：やどかり祭）

やどかり祭は、1年生が主体のお祭りです。今年度は3年ぶりに開催できました！1年生はクラスごとにお店を出店することができます。他にも様々なステージ企画があります。お店の準備・運営を通じてクラスメイトと仲良くなろう！夜には花火も上がるので、恋人獲得のチャンスかも…！？と筆者は勝手に思っています。

6月

☆春A・Bモジュール期末試験

筑波大学は1学期がA, B, Cの3つのモジュールに分かれていて、モジュールごとに授業が開講されています。比文生が受けがちな授業はだいたいA・Bモジュールでの開講なので、この期末期間が一番しんどいです。ちなみに比文の授業は試験の代わりにレポート提出のことが多いです。みんなちゃんと勉強しようね…。

8月

☆春A・B・Cモジュール期末試験

6月が一番しんどいとはいえ、春Cまで開講される授業もあるのでここでも期末試験はあります。夏休みまでもうひと踏ん張り…！頑張ろう！

☆夏季休業

夏休みです！いぇーい！筑波大学の夏休みは2か月弱あります。遊びまくろう！！他に1年生の比文生の夏休みの過ごし方として、車の免許合宿に行く、インターンに行く、というのはよく聞きます。ちなみに筆者は去年免許合宿にもインターンにも行き、とても充実した夏休みを過ごしました。

《秋学期》

11月

☆（学園祭）

例年11月初めに3日間行われます。模擬店、ステージパフォーマンスなど、大学中が楽しいことだらけの筑波大学一大イベント！今年度は学内者限定ですが3年ぶりの対面開催予定です。まだ体験したことがないので詳しいことは書けませんが、とっても楽しみです！

☆秋季スポーツ・デー

基本的には春と同じものですが、春とはほとんど違う種目が開催されるので、秋は秋で楽しめます！

12月

☆秋A・Bモジュール期末試験

春同様ここが比文生の正念場。毎年クリスマスと被ります。さらに年末年始はレポートに追われて終わります…（泣）

☆冬季休業

冬休みは約1週間と短いです。しかもほとんどレポートに潰されます。というわけで結構帰省しづらいです。帰省する場合は特に試験や課題を計画的にやりましょう。

2月

☆秋A・B・Cモジュール期末試験

これが終われば長い春休みが待っています！ラストスパート頑張らしましょう！

☆春季休業

1年間お疲れ様でした。1か月半ほどの春休みです。夏休み同様、免許合宿やインターンに行く人が結構います。ちなみに筆者はひたすらバイトしてました。

いかがでしたか。最初にも書いた通り、結構コロナ前の生活に戻りつつあります。大学生は勉強、バイト、遊び、課外活動など日常でいろんなことに触れられる貴重な期間です。みなさんがいつか充実した素敵な大学生活を送れることを心から願っています。

宿舎について

筑波大学には学生宿舎があります。それだけ聞いても何だかピンときませんよね。現在平砂宿舎に住んでいる筆者が、メリット・デメリット両方含めてご紹介します！

宿舎って？

筑波大学の宿舎は大学の敷地内にあります。一の矢・平砂・追越・春日の4つのエリアに分かれています。比文生は平砂になることが多いです。

部屋は6畳くらいで（私の部屋は細長くて狭く感じます…）、ベッド、机、椅子、洗面台が備え付けられています。キッチン、トイレ、洗濯機・乾燥機（両方コイン式。1回100円）、コインシャワー（9分100円。お湯を出さないときはカウントが止まるので意外にも余裕）は共用です。平砂共用棟という建物には浴場もあります（1回200円、定期券・回数券がお得）。

メリット

- ・とにかく安い！

本当に安い。様々なデメリットが気にならなくなるくらい安い（個人差があります）。

- ・友だちができる

違う学類の人とも知り合えるのが楽しいです！頑張って話しかけよう。

- ・防犯

玄関は暗証番号でロックされているのでセキュリティー面は安心です。大学内だし。

- ・Wi-Fi

各部屋にWi-Fiが設置されています！こういう契約をしなくていいのはありがたい。

デメリット

- ・狭い

アパートやグロビ（後述）に比べるとどうしても…ね…。新生生はあまりの狭さに驚きます。

- ・共用部分は使いたいときに使えないことがある

使おうと思ったときに限って…ということがあります。特にシャワー。

- ・窓が小さい

棟にもよると思いますが日中でも電気つけないと暗いです。

まとめ

宿舎をネットで検索すると散々な意見を多く見かけますが、そんなにひどいところではないと思います(棟にもよるかも)。たしかに広いアパートが羨ましくなる時もありますが、宿舎には宿舎のいいところがあります！

つくばで一人暮らしをする予定の方は、ぜひ宿舎も検討してみてください！住めば都です。

アパートについて

こんにちは。ここではアパートでの暮らしについて紹介していきたいと思います。

アパートの選び方

やっぱり気になるのは家賃だと思うのですが、条件により2万円台~5万円台とだいぶ異なってきます。大学周辺には不動産屋さんがたくさんあるのでいろいろ回ってみましょう。

- ・立地…比文生がよくお世話になる第2エリアに近い天久保3,4丁目が人気ですが、その分家賃も高い印象です。
- ・間取り…大学周辺のアパートだと6~8畳の1Kが一般的。広さを取るか安さを取るか…。
- ・独立洗面所…あったらめっちゃ便利(だと思う)。筆者は予算の都合上泣く泣く諦めました。
- ・階数…2階は意外と家賃が高かったり、1階は空いていても2階は空いていなかったり。
- ・モニタ付きインターホン…防犯にもなるし家賃にもあまり響かない気がするのでおすすめ。
- ・その他…無料のインターネット回線とエアコンはほぼ標準装備、バストイレ別はおおむね標準装備、二口コンロはまあまあ標準装備。

アパートのメリット・デメリット

メリット

- ・自分だけの空間を持てる…なんといっても一国一城の主になれる気分は最高です!
- ・自分のペースで生活できる…夜更かししても親に怒られない。感動。
- ・人を呼べる…友達とタコバ(たこ焼きパーティー)しちゃったり…!?定期的に呼べば部屋の整頓にも繋がる。

デメリット

- ・生活リズムが乱れがち…夜更かしを叱ってくれる親はいません。自堕落し放題。
- ・食生活が乱れがち…自炊する習慣がないと外食だけでエンゲル係数が大変なことに…?
- ・引きこもりがち…執筆当時は対面授業がほぼなかったため、サークルや各種委員会の活動がなければ本っ当に外に出る機会がありません。

あると便利なもの

- ・電気ケトル…筆者宅は一口コンロなので特に恩恵を受けています。
- ・サブスク…暇つぶしに最適ですがハマりすぎて夜更かししないように気を付けよう（経験者からの一言）！ 学生料金でお安く使えるものもあります。
- ・レンジでパスタを作れるやつ…麺と水を入れればあとはレンジがどうにかしてくれます。文明の利器に感謝…。それと、アパートはプロパンガスが多くガス代が馬鹿にならないため節約にも繋がります。

以上です。少しでも参考になれば幸いです！

グローバルヴィレッジについて

皆さん、受験勉強の息抜きに、大学入学後の住まいについて考えてみてはいかがでしょうか。ここでは、上流階級感溢れる(?)我がグローバルヴィレッジについてご紹介します。(昨年の記事を再掲させていただきます。)

*グローバルヴィレッジは「国際交流を重視したシェアハウスタイプの学生宿舎」(大学 HP より引用)です。略称は「グロビ」なので、以下グロビと呼ばさせていただきます。2017年に運用開始したばかりとあって、めちゃめちゃ綺麗です。入居時はあまりの綺麗さにモデルハウスかと思いました。(なお概要については、大学 HP にてキャンパスライフ>奨学金・学生生活の支援>学生宿舎・アパート情報と進んだ先の「学生宿舎のご案内」という pdf を参照してください。)ここからは、私が実際にグロビに住んで感じた、グロビのメリット・デメリットと注意点についてお話ししたいと思います。

*グロビのメリットとしましては、一番は人と会える・留学生の方と交流できることです。特にこのコロナ禍において、引きこもっていても人との関わりが持てるのは貴重だと思います(定期的に人と話さないと心が持たないので…)。また筑波大学に留学生が多いと言っても、やはり自分からコミュニケーションを取らなければ交流は持てません。その点、同部屋に留学生がいると交流しやすいのがメリットです。私は留学生の方に、自国の言葉や食文化について教えていただいたことがあります。あとは、やはり快適なことです。他の宿舎に住んでいる方からは早々に脱獄の話を耳にしますが、グロビに入居してすぐに引っ越す方はあまりいないように思います。ちなみに契約期間は二年間(途中の退去可能)で、その後は抽選となっています。

*グロビのデメリットは大きく分けて2つですかね。まず、共用部分の使用時間が被る可能性があることです。キッチン・お風呂・トイレ(二か所)が共用ですが、特にお風呂の時間が被ってしまった時は時間の潰し方に困ります。メンバーの生活リズムにもよりますが、上手く時間帯をずらせるといいですね。次に、メンバーと相性が合わない可能性がある…ことです。まあ、こればかりは運です。グロビへの入居が決まったら毎日神様にお祈りしてください。ユニットによって、交流の程度や部屋の綺麗さは様々といえます。

*グロビに住むうえで気を付けたいことは、生活を共にする仲間としてユニットメンバーへの気遣いを忘れないことと、人によるのかもしれませんが適度なコミュニケーションを取ることです。是非ユニットメンバーの方と積極的に交流してみてくださいね

以上簡単ですが、グロビの紹介でした！色々と書きましたが、個人的にはグロビ、すごくおすすめです。正直英会話を覚悟していましたが、(少なくとも私の場合は)問題なく日本語で会話できています。あくまで一個人の意見ですが、参考になりましたら幸いです。では。

宅通について

◎宅通とは

筑波大学では、実家から通学していることを宅通と呼びます。他の大学の人たちは宅通という言葉を知らないので、筑波大学特有の言葉です。筑波大生は、ほとんど宿舎やアパートで一人暮らしをしていて、一人暮らし率は他大学と比べるととんでもなく高いです。ここでは、現役宅通生が宅通についてご紹介します。

◎宅通の通学事情

一口に宅通といっても、通学方法や通学時間は様々です。まず、電車を使って通学している人たちです。つくばエクスプレスがあるので、沿線の人たちはまだ楽ですが、乗り換えがある人たちには敬意を表したいです。私が知っている最長通学時間は往復5時間です。次に、割と近場からバスや車などで通っている人たちです。私はここに分類されます。そして、自転車や徒歩で通っている人たちです。個人的には一番羨ましいです。

また、筑波大学はととてもとても広いので、大学循環バスが走っています。7時台と8時台の循環バスはとっても混んでいるので覚悟してください。私は毎回朝のバスがストレスで、早く車の免許を取れば良かったと後悔しています…

◎宅通のメリット・デメリット

メリット

- ・環境が整っている

食事、洗濯、掃除、お金の管理など全て一人でこなすことはとても大変です。また、話し相手がいつでもいることも大きな強みです。

- ・環境が変わらない

環境の変化がなく、住み慣れた家で過ごせます。宿舎やアパートはスペースが限られていて、引っ越し際に泣く泣くお別れしなければならないものもあるでしょう。

デメリット

- ・あまり夜遅くまでいられない

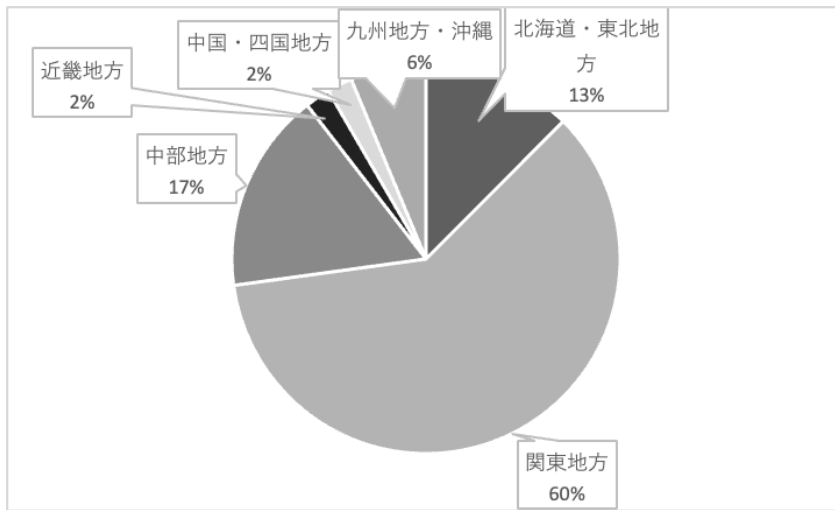
常に終電を気にしなければなりません。サークルや委員会は終わるのが20時以降になるのでご飯に行くことになるのも夜です。一番悲しいのは、そのとき途中で帰らなければいけないことです。

以上が宅通についてでした。一番は不自由のない衣食住があることです。ぜひ宅通も選択肢の一つに入れてみてください。

アンケート～生活編～

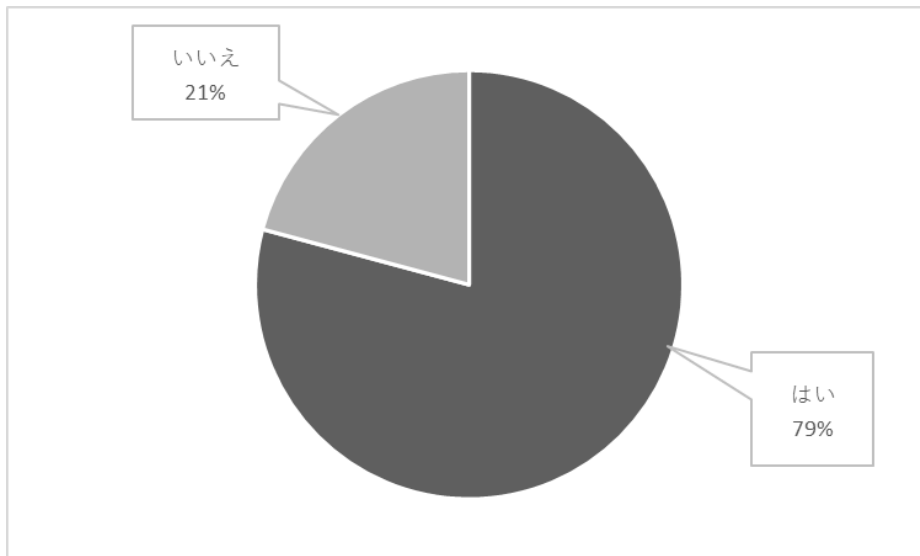
比文生の知られざる一面が明らかに？1,2年生にアンケートを取りました。

1. 出身地はどこですか？



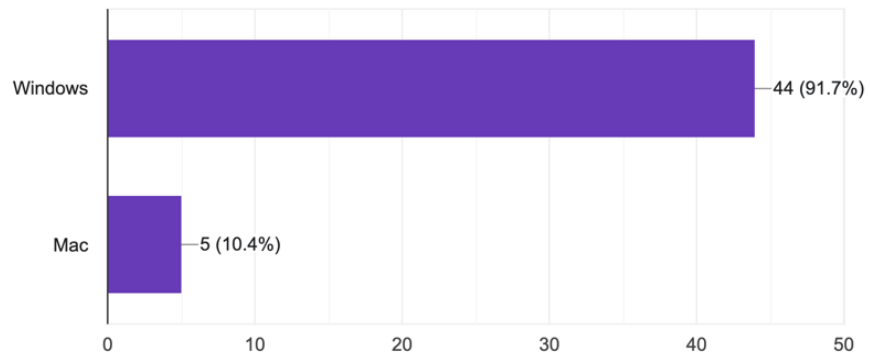
やはり関東地方が多いです。ですが日本各地から学生が集まります。

2. 自炊はしていますか？



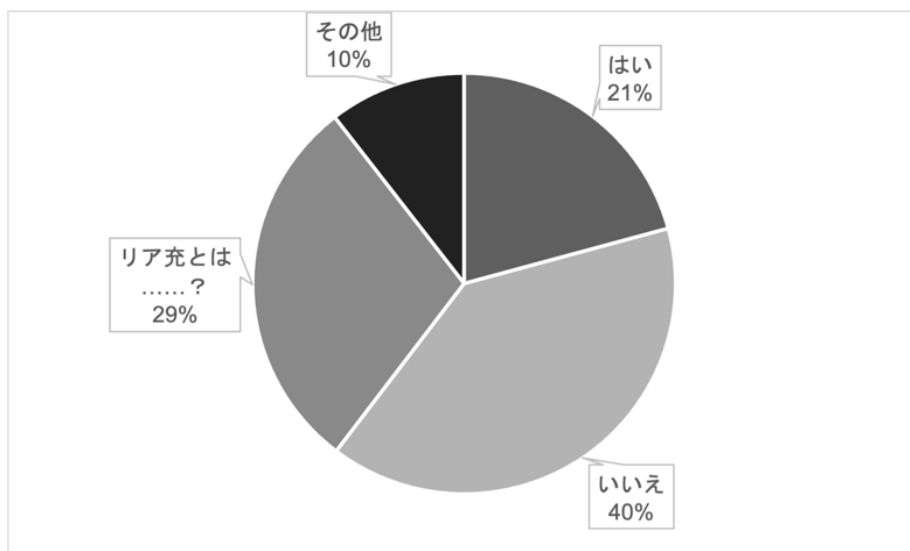
約8割が自炊をしています。人と会う用事があると外に食べに行ったりもします。しかし約2割が自炊を諦めているのも実態です……

3. パソコンはどちらをお使いですか？



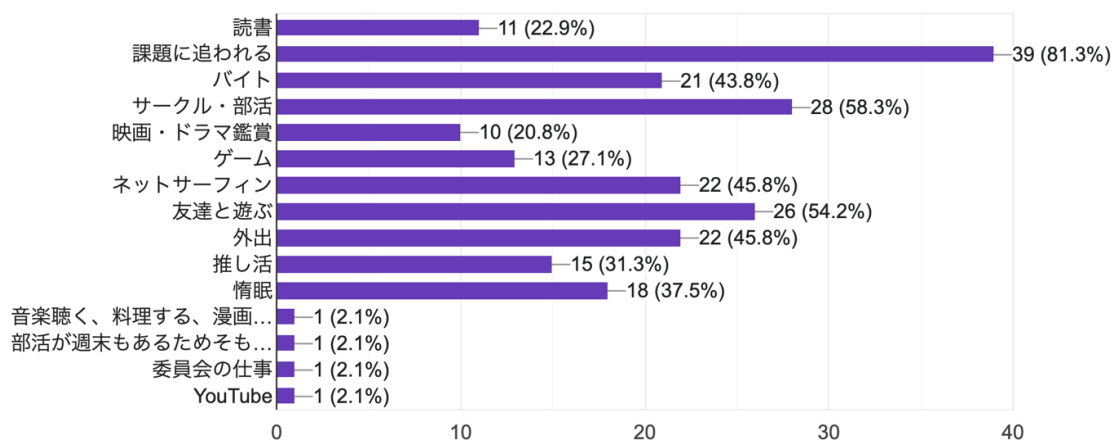
Windows 利用者が圧倒的に多いです。ただ比文の場合、OS が何であるかよりも本体容量や値段と相談して決めた方がいいと思います。

4. リア充ですか？



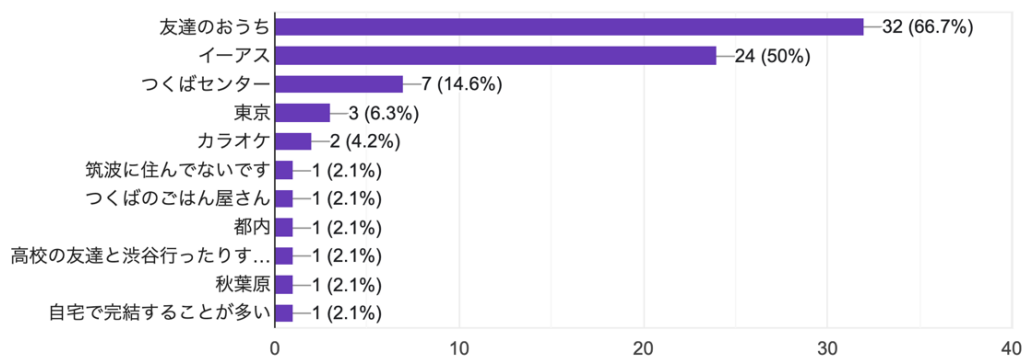
なぜか比文のパンフレットでは毎年おなじみのこの質問。個人的には2割もリア充がいることを知って焦っています……

5. 休日はどのようにしてお過ごしですか？



課題に追われる人、多いですね……私もです。

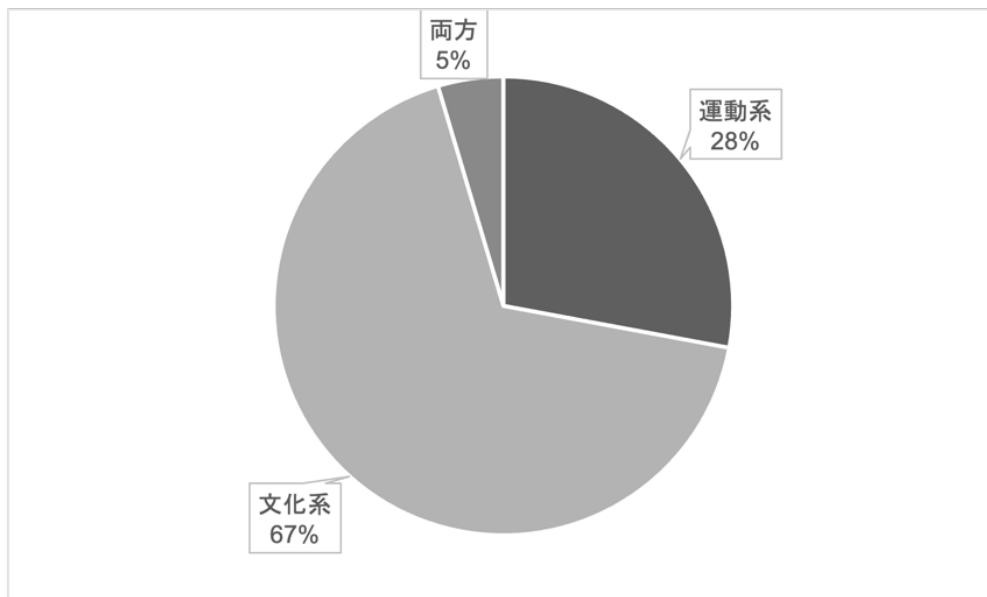
6. 遊ぶときはどこに行きますか？※複数回答



かなりの学生がつくばで一人暮らしをしているので家で遊ぶことが多いです。

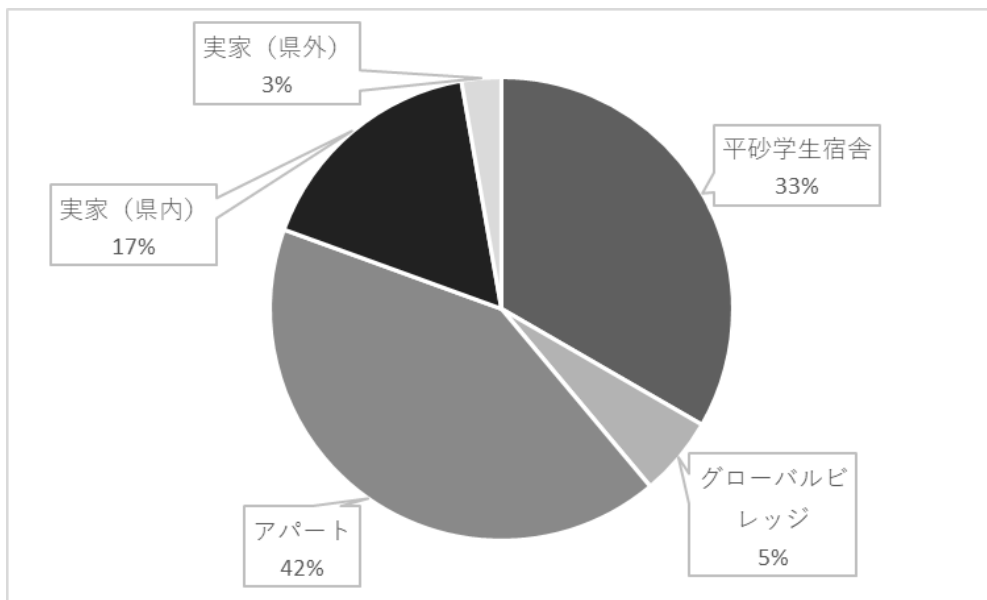
「イーアス」とはお隣の研究学園駅最寄りにあるショッピングモールのことです。

7. どんなサークル・部活に所属していますか？



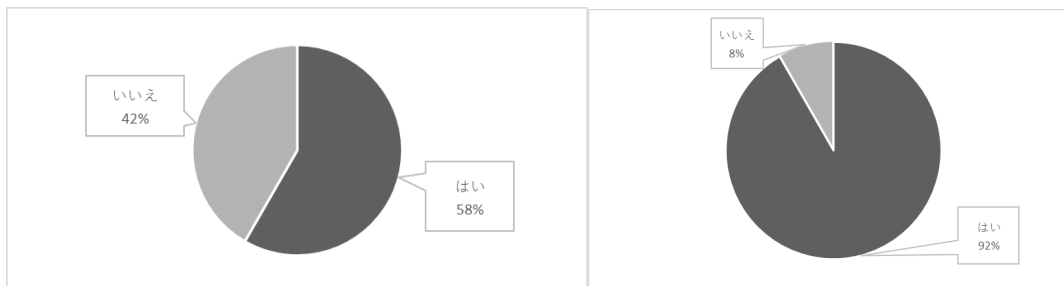
約9割がサークルに所属している比文生ですが、所属は文化系が多いです。まれに両方所属するなんて人も。

8. 現在どこにお住まいですか？※1年生のみ



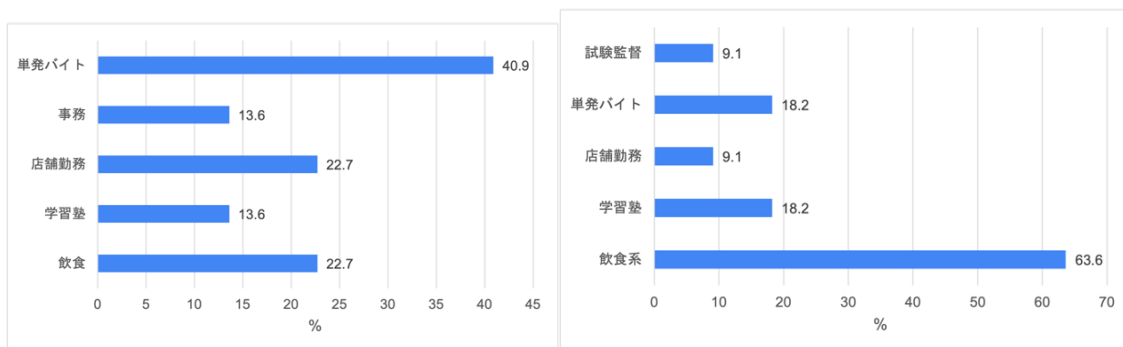
1年生のうちには宿舎に入居している人や宅通の人が多いです。学年が上がると宿舎勢がアパート勢になります。

9. バイトはしていますか？



左が1年生、右が2年生です。アンケートを取ったのは6月なのでこれから始める1年生も多いでしょう。

10. どのようなバイトをしていますか？



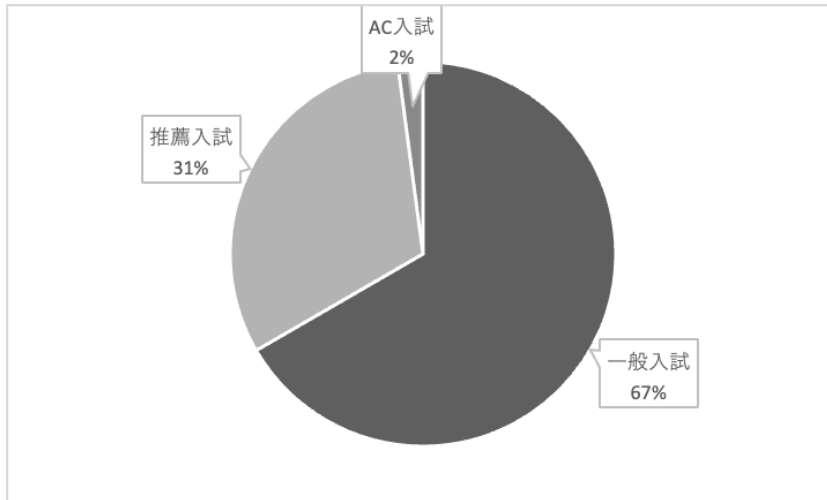
こちらも左が1年生、右が2年生です。

「単発バイト」が多いのが筑波大生ならではの傾向かもしれない。

アンケート～受験編～

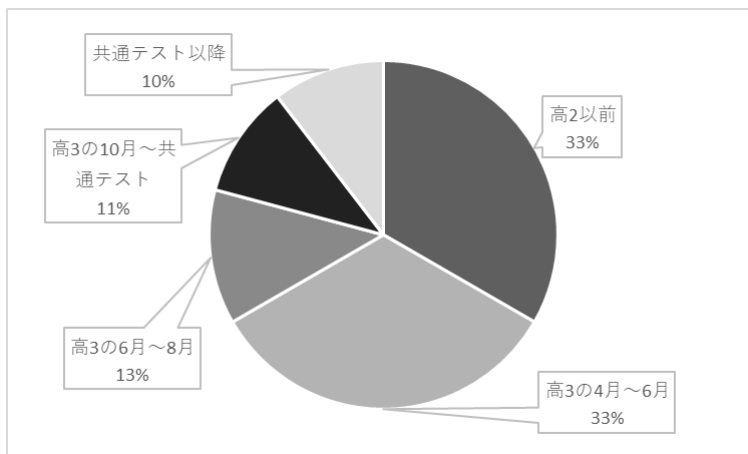
生活編と同じく比文の1,2年生に聞きました。参考になれば幸いです。

1. 入試形態はどれでしたか？



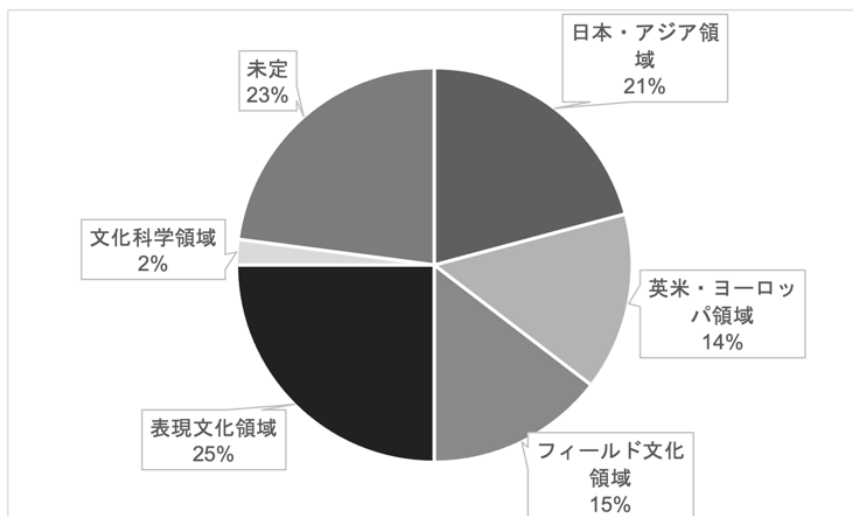
筑波大学は国公立ではかなり珍しく推薦が約3割います。入試形態は相性があるので自分の得意不得意を考えて自分にあった入試形態を選んでください！

2. いつから比文を志望しましたか？



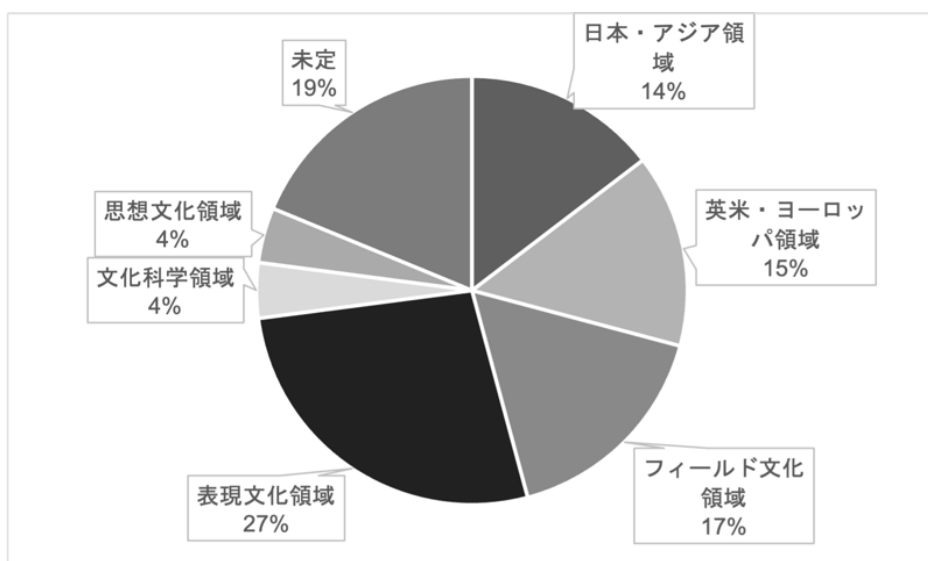
高3の夏休み明けくらいには志望が決まっていた学生が多いです。

3. 入学前に志望していた領域はどこですか？



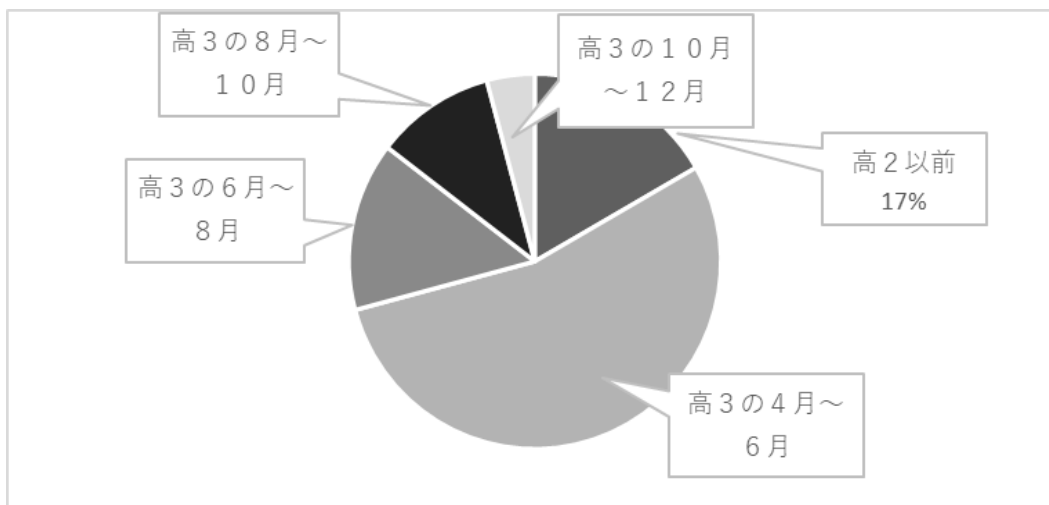
同じ比文を志望していても、やりたいことは全く違ったりします。いろんなことを自由に研究できるのが比文のいいところ！

4. 現在の志望領域はどこですか？



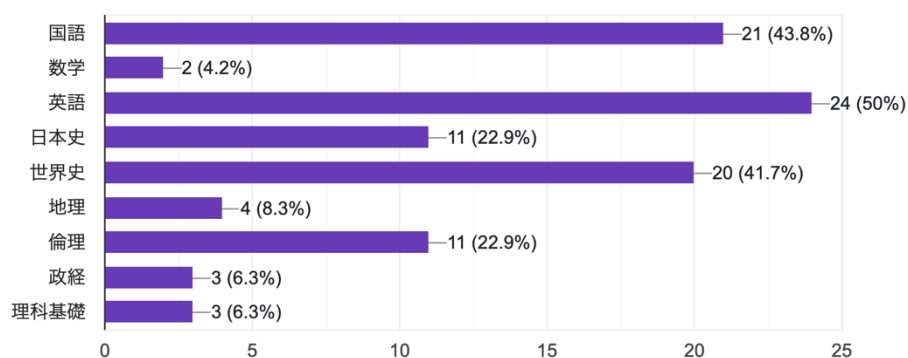
入学してみてやりたいことが変わった学生も一定数います。

5. いつから本格的に受験勉強を始めましたか？



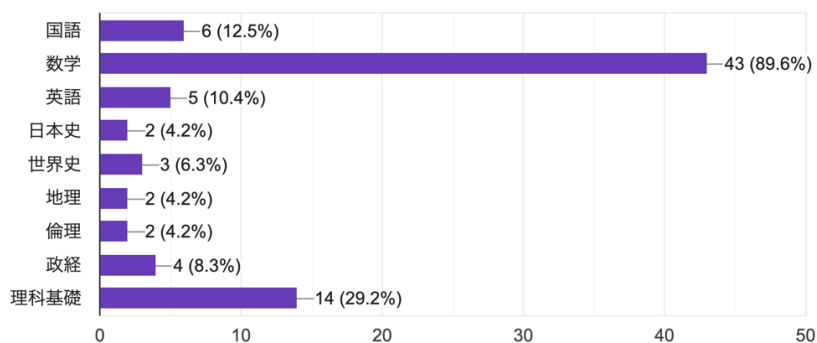
今の2年生は高校3年生のタイミングで休校などがあった代なので、早くから始めた人も多いかもしれません。

6. 得意科目は何でしたか？※複数回答



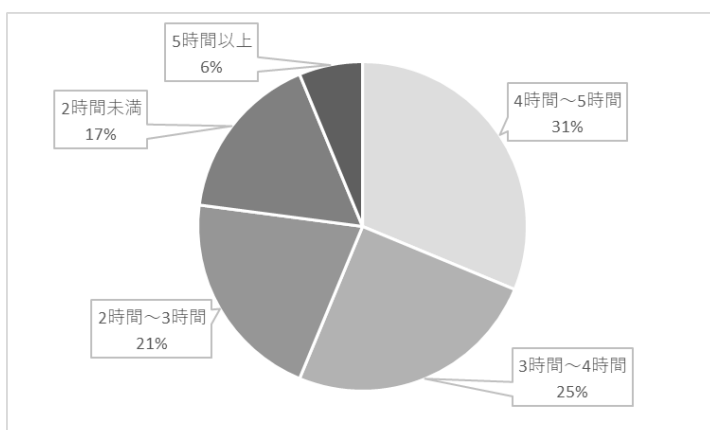
さすが文系。英語・国語が得意な人が多いですね。筑波大学は社会科目の入試が特徴的なので社会が得意な人も多いです。

7. 苦手科目は何でしたか？※複数回答



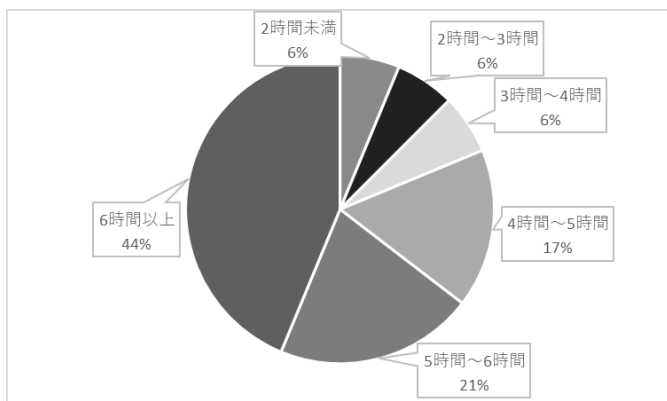
まさに文系。私も数学は苦手でした。

8. 平日、授業以外にどれくらい勉強していましたか？



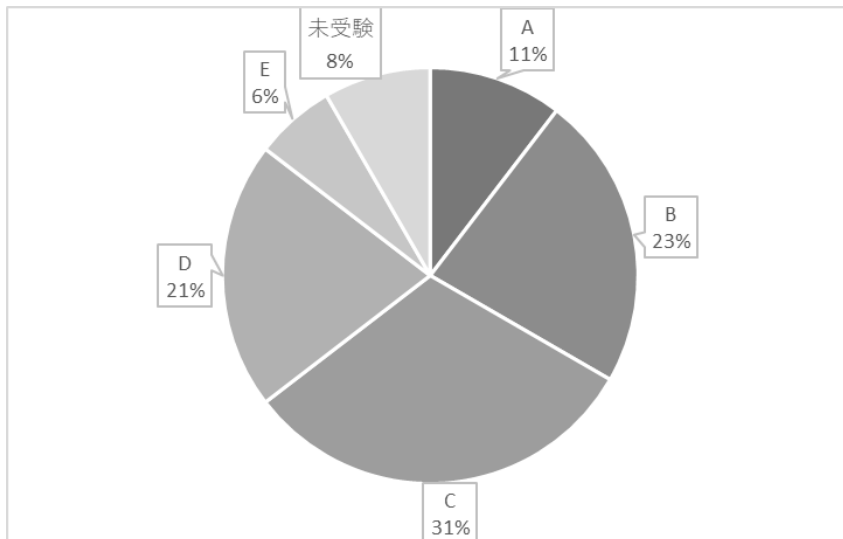
通学時間を勉強時間に充てていた方も多いのでは？

9. 休日の勉強時間は？



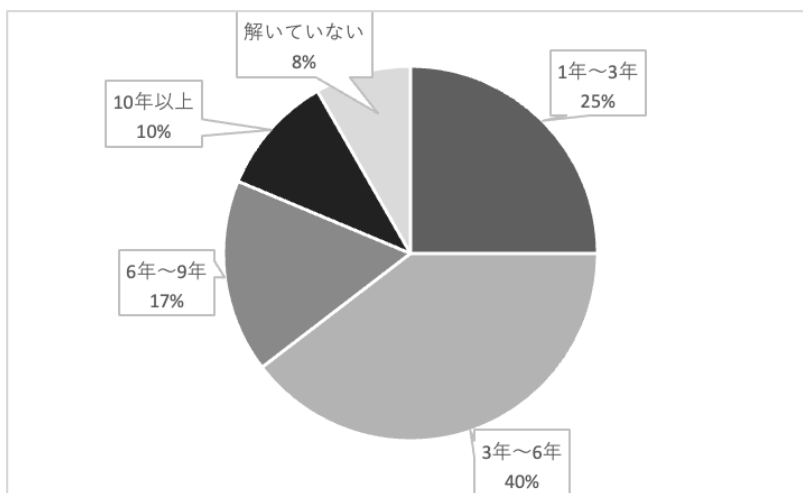
1日のルーティーンが決まっているのが理想。

10. 夏～秋の模試の結果は？



D判定、E判定からの逆転合格も結構いますね。みんな諦めずに頑張ろう……！

11. 過去問は何年分解きましたか？



筑波大学の一般入試の問題は赤本1冊に4年分収録されています。

12. 推薦入試の対策は何をしましたか？

【小論文】

過去問の添削

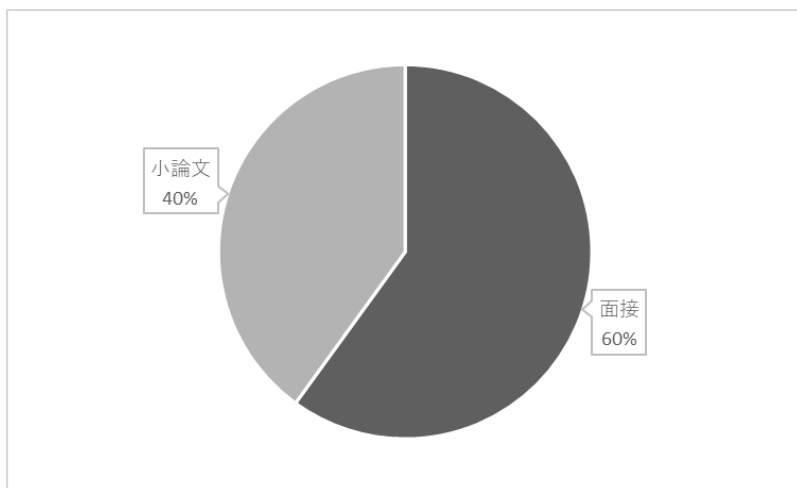
ニュースを読み、まとめる。

英語の論文を読む。など

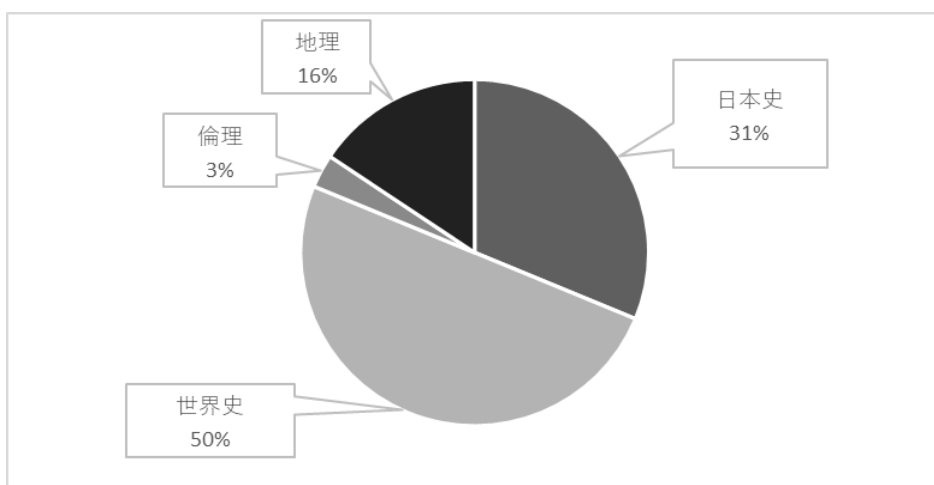
【ディスカッション】

実践練習、討論番組を見るなど

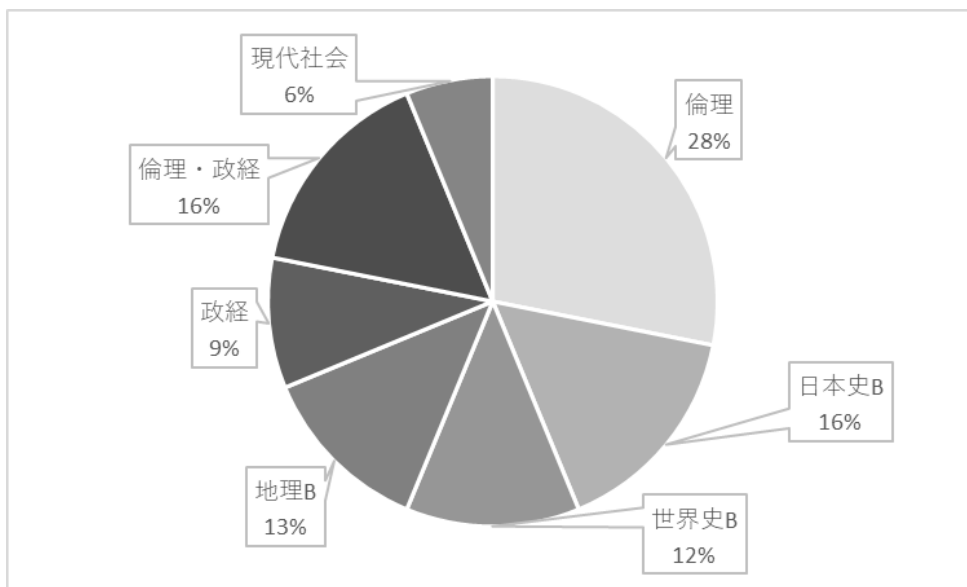
13. 面接と小論文どちらが得意でしたか？



14. 一般入試、2次試験の社会は何を選択しましたか？

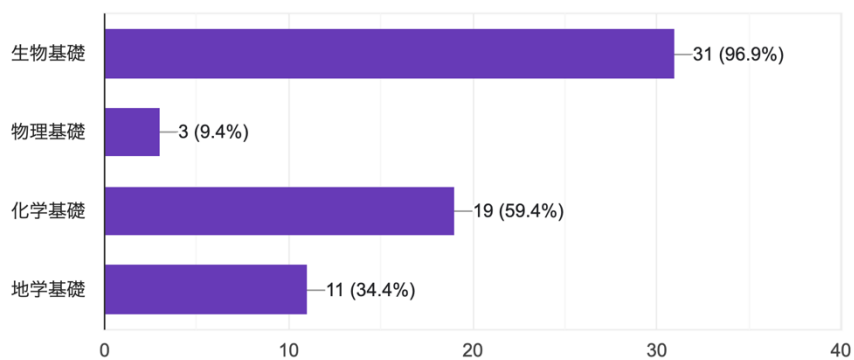


15. 共通テスト社会2科目目は何でしたか？



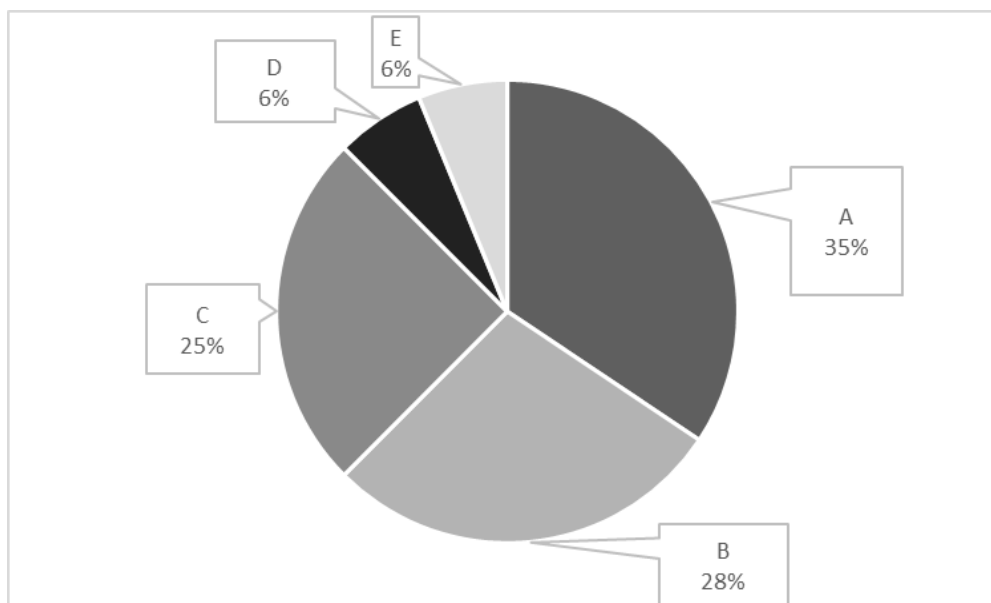
倫理の人が多くですね。筑波大学は社会2科目目の自由度が高いので併願先などの制限を参考に見てみるといいかもしれません。

16. 共通テストの理科はどれでしたか？（※複数回答）



ここにも比文生の数弱が現れていますね

17. 共通テストリサーチの結果はどうでしたか？



筑波大学の一般入試は共通テストの割合はあまり高くありませんが、やはり共通テストの結果は重要みたいです。

18. 私立併願校はどこでしたか？※ () は人数

関西大学(1) 青学(2) 立教大学(11) 早稲田大学(10) 明治(9) 法政(5)
慶応(2) 中央(3) 成蹊(1) 拓殖(1) 國學院(1) 立命館(1) 同志社(2)
上智(1) ICU(1)

一般入試について（1）

皆さんこんにちは！

私は、大学生になったら一人暮らしがしたい！という不純な動機で、地方国公立大学に進学しようと決めました。それから、文系の様々な分野に興味があったので、それらを学べて専攻をゆっくり決められる大学を探して、筑波の比文を第一志望にしました。それが高1の秋くらいだったかな。ただ志望校を決めたのが早かったわりには特に受験対策はしてなくて…やっと受験勉強を始めたのが高3の体育祭が終わった後の6月くらいでした。また、塾に通っていませんでした。ものすごくマイペースなので、他の人に比べて勉強量は少なかったと思います。それでも無事合格できて比文の一員になれたので、もし自分と周囲を比べて不安に思っている方がいたら、これを読んで元気だしてください！

苦手科目（数学）について

比文は数学の配点が低めなので、毎年数学弱者が多く入ってくるらしいです。私もその一人です。数学、超苦手でした。

1・2年で数学をサボりすぎたため、3年の時に文系向け数学の授業を取って対策しましたが分からなさすぎて睡眠時間と化していました（ごめんなさい）。共テ模試では30~40点台をさまよっていました…。

しかし！夏休みに時間をかけて対策したところ、50点台に乗ることが増えてきました！

ただそれでも模試の判定ではいつも数学が足を引っ張っていたので、秋冬はほとんどの時間を数学に捧げました。早弁して昼休み中に問題集を解いたり、過去問を何年分も繰り返し解いたりしていました。自分本当に文系？ってくらい数学漬けでした。

その結果、他の教科の足を引っ張らないくらいの点を取ることができ、共テリサーチはAでした！時間をかけて頑張った分は点数になって返ってきます。苦手科目も諦めないで…！

論述問題（世界史）について

私は、二次試験では世界史を選択して受験しました。400字論述…本当に書けるのか、不安になるかもしれないけれど、大丈夫です。ちゃんと勉強すれば書けるようになります！

高2の時、休校や短縮授業の影響で世界史の授業が大幅に遅れ（高3の時の先生、ものすごく大変そうだった…）、結局世界史の全範囲が終わったのは、なんと！12月末の冬期講習でした！びっくりだね！私は授業の先取りをしていなかったの、そこから詰め込んで何とか共テに間に合わせました…。論述対策を始めたのも共テが終わってからです。教科書を二周くらい読みながら覚えていない箇所に線を引きました（因果関係とか時代背

景とか…。2月に入った頃から過去問を解き始めて、先生に添削して頂きました。4題×9年分くらい解いたと思います。ただギリギリで詰め込んだことで現代史をほとんど覚えておらず、半ば諦めの境地で受験会場に向かいました…。ところが！現代史は出題されず、直前に確認した戦間期の問題が2題出題されるというミラクルが起き、無事合格することができました。完全に運が味方しましたね…。

こんなギリギリスケジュールでも何とかしたのは、高3になった時から、習った範囲は完璧に覚えようとしていたからです。模試の点数や偏差値がどんなに悪くても、授業で習ったら解けるようになる！と信じて開き直っていました。それから、世界史の先生に「論述対策は共テ後からでも間に合う、まずは知識を増やすべき」と言われていたのであまり不安はありませんでした。実際ちゃんとした文章が書けさえすれば、どれだけ覚えているかの勝負なので。ただ筑波の人に「論述対策は1か月半くらいでやった」と言うと大抵は驚かれます。早くから対策の方が確実です…。あとは、私は国語と英語が得意だったので、二次試験に関しては世界史に多く時間を割くことができた、というのがあります。結果として世界史の点が一番良かったので、過去問をやっただけ点は伸びるのだと思います。過去問、大事。

二次試験当日について

私は関東出身で、家から筑波までは、電車の乗り継ぎ+駅から会場までのバスで3時間半くらいかかりました。当日の朝5時くらいに家を出て(始発から2番目くらい…真っ暗だった…)電車に乗ったのですが、通勤する人で混んでいて全く座れませんでした。不安ゆえに詰め込みすぎたリュックはものすごく重いし、いつもは乗らない電車だったので揺れで気持ち悪くなるし…で大量に持っていった参考書を読む余裕なんてありませんでした(笑)

混んではいたものの、TX(つくばエクスプレス)では座れました！前日も遅くまで世界史を勉強していたうえに早起きだったのでここで爆睡。参考書意味なかった。

つくばに着いて、ここからどうしたらいいのかなあ、と途方に暮れていましたが、試験会場行きの臨時バスが出ていたので全く心配ありませんでした(なぜ事前に調べなかったのか)。バスは何台もあるので乗れないことはないのですが、すごく並ぶし、乗ってからもすごく混んでいました…。試験会場に着いてしまえばもう心配はないです！帰りもバスありました。

何とかだったので問題はないのですが、私には反省していることがあります…。それは近くに泊まらなかったこと。高校の先生や同級生に「日帰りした」と言ったら例外なく驚かれました。たしかに、もし雪で電車が止まってしまったらどうするつもりだったのだろうか私は…。

最後に

私は塾に通っていなかったうえに、勉強時間が短い自覚があったので、自分と周囲を比べて悲観的になってしまうこともありました。特に共テ前は全く自信がなくて、リサーチ結果が良くなかったら違う大学を受けるべきか迷い、相談にも行きました。そこで先生に言われたのは「完璧な人はいない」という言葉です。皆さんも試験会場では周りの人がすごく賢そうに見えるかもしれませんが、でも周りの人も自分と同じです。誰にでも苦手な箇所はありますから、他人を気にせず、自分を信じて最善を尽くすことが大切だと思います。

このパンフレットを執筆するにあたって受験期のことを色々と思い出してみましたが、苦しいこともあったはずなのに、今となっては懐かしいばかりです。受験を控えている皆さんも、今は苦しい時かもしれませんが、そう思える日がきっと来ると思います。

私の受験体験記が少しでもお役に立てば幸いです。皆さんに比較文化学類でお会いできる日を楽しみにしています！

一般入試について (2)

○はじめに

一般入試を受けようとお考えの皆様に向けて、ここでは私が受けた共通テストからの一般入試という非常にオーソドックスな方法の経験談やちょっとしたお役立ち(?) 情報などをお伝えしていきます!

○共通テストについて

センター試験から共通テストに代わって次はもう3回目、ちょうど過渡期ですね。私たち共通テスト2回生(勝手にそう呼ぶ)は数々の予想問題を解いても傾向が外れていたり問題が変化していたり(特に英語)となかなか一筋縄ではいきませんでした。そして一番2回生が苦しめられたのが……言わずと知れた**数学**です。

で・す・が!!!

我らが比較文化学類は共通テストの配点換算を見ると**数学 IA、IIB**の比重が低く、非常に数弱に“も“優しい学類です。ザ・文系と言っても過言ではない。倫理政経に限らず、社会の第二選択科目として**現代社会**が使えるのも良いポイントです。日本史との配点が1:1なのが嬉しい!

ちなみに筆者のステータスは数弱、英弱の二重苦。なんなら国語も本番失敗したので怪しいところです……英語はリスニングの配点の低さに助けられました。尚ついでにといいはなんですけど化学基礎もできません。(逆に何ができたのか)

参考までに筆者の受けた科目を挙げると↓

・国語 ・日本史 ・現社 ・英語 ・理科基礎(生物と地学) ・数学 IA IIB

下線を引いた地学基礎は、化学基礎ができなかった筆者が**独学**で受けたものになります。(ちなみに共通テスト対策の黄色本が非常に役に立ちます。リスニングや倫政もおススメ)

私の学校では地学基礎の選択も、3年になってからの現代社会選択もできませんでした。しかし地学基礎に関しては3~4ヶ月の勉強でもなんとか詰め込むことができます! そう、独学でも良い。模試は受けておいた方がいいですが、過去問研究と基礎を身につければきっと戦えます。一番自分が有利に点数を取れる科目を探すのも作戦の一つです! 配点も計算して最終点数が高くなる道を探しましょう。

○二次試験について

私は文系3科目(国語、英語、日本史B)で受験しました。筑波大学の入試に特徴的なのは記述量の多さと言えると思います。問題自体は難解すぎるものではなく、基礎をしっかりと固めて応用する力、自分の言葉で要点を書ききる記述力があれば充分対応可能な問題です。私は二次試験の勉強を本格的に始めたのが遅く、私立受験後だったのですが、前年度は私立大学も記述問題を増やしていたためにその対策をしながら記述力をつけたことで乗り切りました。二次試験は共通テストの倍の配点なのでここで逆転可能です！

受けた文系3科目について主観を含みながらにはなりますが説明します↓

・国語……現代文、古文、漢文全てを含んだ構成で、どれにも記述で内容を説明する問題があります。漢文は白文を読む部分もあるので、漢字の並びから読み方を覚えておくといと思います。私は漢字の意味を覚えてそこから推測ができるようにしていました。

・英語……前年度は記述量が増え、最後の英作文の前に課題文の要約が追加されていました。英訳や和訳の文章量が多いので、完答よりも部分点狙いを勧めます。文法問題の比重は他校より低めですが差がつくポイントです！難関単語の推測ができると良い。英作文は正確に使える文法のみで大丈夫ですが、最低でも一回は先生に添削してもらいましょう。

・日本史B……社会教科はこれ以外にも世界史B、地理や倫理が選べます。形式は変わらず400字×4題を2時間(1題に30分)で書き終えるものです。軽めの小論文か？提示された語句の関連性、同時に引っ張るべき裏の語句を見つけて、できれば時系列通りに書けるといいでしょう。正確な知識はどんどん入れ込んで加点ポイントを狙うべし。書き方は千差万別なのでこれも先生に必ず添削してもらいましょう！

筑波大学の2次試験は3科目をそれぞれ2時間ずつで6時間かかる長丁場です。その上文章量も記述量も多いので、とにかく集中力と体力が必要だと思います。(試験中何度途中で帰ろうと思ったことか)これら2つを養うためにも、決めた時間は集中して勉強するよう自分を鍛えておきましょう。その姿勢は受験後大学に入ってから必ず役立ちますよ！

○おわりに

最後まで読んでいただきありがとうございました。読んでくれた皆様に明るい兆しが見えるよう祈っています。諦めなければ、可能性は見える！

推薦入試について

皆さんこんにちは。比較文化学類のオープンキャンパスに参加いただき、ありがとうございます。この体験記が少しでも皆さんの役に立てれば嬉しいです。

◎志望動機について

私は、尊敬していた高校1年生のときの担任の先生と世界史の先生が筑波大学出身だったことから、なんとなく1年生のときから筑波大学を志望していました。そして、表現文化について学びたいという思いで、2年生のときに比較文化学類を志望しました。しかし、3年生の夏頃、模試の成績が思ったように伸びず、推薦入試を考えました。

◎一般入試との両立について

筑波大学の推薦入試は、必ずしも合格するわけではありません。ですから、もしダメだったときを考えて、一般入試の対策も同時に行わなければなりません。しかし、私はどちらも中途半端になるのが嫌だったため、推薦入試の対策を重点的に行いました。私が通っていた高校では11月からはほとんどの授業が演習形式になるため、一般入試の対策はこの授業で行いました。貴重な一般入試対策の場だと感じることで、いつもより真剣に取り組むことができました。

◎小論文の対策について

比較文化学類の推薦入試では、英語と日本語の小論文が課せられます。小論文対策で一番やったことは、学校の先生に添削していただくことです。学校の先生が、過去問や似た形式の他大学の問題をくださり、添削していただきました。特に、英語の小論文では、よく使うフレーズを覚えることを優先的にやりました。

◎面接の対策について

比較文化学類の面接は、グループ面接です。放課後に学校の先生、家で家族に手伝ってもらいました。学校での最後の練習のときには、模擬グループ面接をやっていただき、周りに数人の先生や生徒がいる状況で緊張しないように発言する練習もしました。また、聞かれやすそうな質問とその答えを書いたメモ帳を持ち歩いて、スラスラ言葉が出てくるように練習しました。

◎グループディスカッションの対策について

比較文化学類の推薦入試には珍しくグループディスカッションがあります。学校にはグループディスカッションをやる人が3人いたため、3人で集まって練習しました。また、もう進路が決まっていた友人に協力してもらって電話でディスカッションをしたり、討論番組を見て、話し方や討論の進め方なども勉強していました。そして、小論文対策にと購入したネタ本も使って、知識も増やしました。

◎試験当日のことについて

比較文化学類の推薦入試は、1日目が小論文で、2日目が面接とグループディスカッションでした。初日は家族に送迎してもらったのですが、緊張しすぎて車の中で号泣して、泣きべそをかきながら試験会場に足を運びました。2日目は、面接官がパンフレットで見たことがある先生だったので、なぜか少し緊張がほぐれたのを覚えています。また、グループディスカッションは結構練習した気がしましたが、声が震えているのが自分でもわかるくらい緊張しました。

「やる前に負けること考えるバカがいるかよ！」

突然ですが、アントニオ猪木さんの言葉です。グループディスカッションの練習に協力してくれた友人が教えてくれました。受験期にはこの言葉がとても支えになりました。一番大切なのは気持ちだと思います。弱気になった時点で負けです。一般だろうが、推薦だろうが絶対に受かってやる！というような強い気持ちが絶対に助けてくれます。つらいな、やめたいな、推薦入試に手を出さなければよかったな、一般入試に食いついていけばよかったなと思ったことはたくさんありましたが、強い気持ちで無理やりにでも乗り越えていってください。皆さんが後悔のない春を迎えられますように心から応援しています。

AC 入試について

□AC 入試って？

こんにちは！このページを読んでくださっている方は、AC 入試に興味を持ってくださっているということでしょうか。とはいえ、AC ってなんぞや?? という方も当然いらっしゃると思いますので、この入試について私の体験と共にお伝えしていけたらと思います。

AC 入試——人文・文化学群比較文化学類アドミッションセンター入試。この入試には、共通テストが必要ありません。二次試験も必要ありません。学校の評定も、英語資格も、学校からの推薦も、必要ありません。必要なのはふたつだけ。

自分の好きなものに対する誰にも負けない愛と探究心です。

提出を求められる「自己推薦書」には文字数制限も形式の決まりもありません。内容は自分で決めなくてはなりません。でもこれはつまり、この入試ではどれだけでも、どんなアプローチでも、自分自身と自分の好きなものについての研究を表現していいということです。どんなにニッチなことをどれだけ長く熱く面倒臭く語っても、面白ければあなたの好きなことについて教授たちが面接という場で一緒に語ってくれるということです（私は6万字書いて、漫画も絵も描いてマジで好きなことを書類に詰め込みましたが、教授は読んでくれていました）。心がそわっとした貴方。AC 入試受けてみませんか。

□私の受験体験

私が筑波大学の AC 入試に提出した研究のテーマは「日本のオリジナルアニメーション映画に見られる特有の自然観とは」というものです。アニメ？国公立の研究テーマで！？とびっくりされる方も多いかもかもしれませんね。私も初め、単純に「好きなもの」だったアニメ一本で、ここまで突き詰めて、それだけを武器に合格できるなんて考えもしませんでした。ですがその「好き」を曲げずにブレずに全力で進み続けた結果、私は筑波入学後も見据え続けられている未来につながる受験が出来たのだと思います。

はじめ、私の中で受験は「大学に気に入ってもらえる自分を準備するもの」という印象が強固でした。そういう方は多いのではないのでしょうか。「好きなことを研究に」と言っても、学問らしくしようとすればもっと難しい題材をメインに据えて、私の本当に好きなアニメや物語については抑えるべきなのでは？そんなイメージが拭いきれませんでした。

しかし、筑波大学のことを知っていくと驚く事実がたくさんありました。まず、アニメーションという研究としての歴史のとても短い対象を、しっかり研究できるコースが比較文化学類に存在したこと。筑波大学の学問領域はとても広く、比較文化だけでも6つの領域、17のコースがあり、自分の興味関心から細かく進む道を選ぶことができます。さらに、他学群の授業も自由に取れるため、研究について別視点から見る学問なども積極的に取ることができるという点は私にとって魅力的にすぎました。

高校2年生の冬に受験を決め、高校3年生の夏までじっくりかけて研究テーマを洗練さ

せていきました。広く「物語」「アニメーション」と言っても、その中の何に自分は最も心惹かれているのか。合格のその先で、自分が本当にやりたいことは何なのか。先行研究の本や論文を読み漁り、アニメの分析を何度も何度も行って、「大学のため」の対策と言うよりも、自分の「好き」をどんどん削り出していく作業をしていきました。すべてが自分の好きなものについての努力なので、ひたすらに楽しかったことを覚えています。

私が自己推薦書と添付資料に書いたのは以下のような内容です。

- ・研究テーマについての論文（ウェイトはこれが1番大きいです）
- ・なぜ筑波大学でなくてはならないのか
- ・4年間で取りたい授業（シラバスを参考にしました）
- ・物語やアニメーションに幼少期からどのように触れてきたか
- ・どんな体験が今の私の価値観を形成してきたか
- ・私はとにかく、人生をかけて『物語』を愛しているのだということ

もちろんこれはあくまでも私の例であり、他にも好きなことを書くことができます。個人的に大切だと思うのは、自分の好きな物に対して自分が「どんなところに課題を見つけ」、「どう解決に取り組んだか（研究したか）」、「その研究の続きがどうしても筑波じゃないとダメな理由は何か」、そして「自分はいかにそれが好きか」を全力で主張することです。

二次面接では、30分間ひたすら自分の研究テーマについて掘り下げられます。前述の要素を中心に自分の自己推薦書をきっちり頭に入れ、一次の書類提出後も研究を発展させておけば大丈夫です。当然研究の至らないところについて新たな視点の指摘は飛んできますが、未熟なことは全く怖がらなくて大丈夫。教授の方が頭いいのは当たり前です。そんな方々からの全部の質問に完璧に答えられないのだから当たり前。自分では気づけなかった新しい指摘をもらって研究をぐんと進めることのできるありがたすぎる場に招待されてディスカッションできる、という気持ちで行けば、筑波ACの二次面接は本っ当に楽しいです。自分の「好き」を教授と語れるの素晴らしかった。

……ね？そんな気持ちで受験できたら、最高でしょう？私は最高でした。だから、是非、是非みなさんにもおすすめしたい入試です。

正直なことを言えば、ACの選抜は狭き門ですし、簡単な道ではありません。どれだけ努力しても、絶対に受かるという確信を持てることはありません。しかし、高校生のうちから自分の研究を追求することは、その体験そのものが自分の「好き」を深め、その好きを将来にすることの出来るとてもとても貴重なものだと思います。本気で「好き」を貫きたい、それを武器に筑波に自分を認めさせたい、そんな思いをこのページを読んで抱いてくださった方がいたら、AC入試、受けて欲しいです。私は全力で貴方を応援しています！

編集後記

編集後記としてパンフレット局員からメッセージを集めました。

- ・受験は決して楽なものではないですが、きっと乗り越えられます。比文でお待ちしています！！
- ・受験は辛いけどいつか終わります。適度に休みながら自分のペースで頑張ってください！
- ・ここまで読んでいただきありがとうございます。自分に合った方法で努力していきましょう！
- ・比較文化学類に興味を持っていただきありがとうございました。頑張ってください！
- ・心から行きたいと思える場所を目指してください。筑波は最高です。応援してます！
- ・お手に取ってくださりありがとうございました。キャンパスで会えることを楽しみにしています！
- ・私自身、受験生の時に OC パンフレットを読んで元気づけられていました。このパンフレットを読んでくれた皆さんにも同じように思ってもらって頂けていたら嬉しいです！比文で会える日を楽しみにしています。

プレゼンテーション局

パンフレット局

イベント局



最後までお読みくださり、ありがとうございます。

このパンフレットに関わるすべての皆様に感謝申し上げます。

2022 年度比較文化学類オープンキャンパス実行委員会パンフレット局

